

# 茨城県感染症流行情報

INFECTIOUS DISEASE WEEKLY REPORT IBARAKI

2015年第43週  
(10月19日～10月25日)

## 【今週の動向】

- ①RSウイルス感染症は、先週に比べて全国・本県ともに増加し、昨年同期に比べて幾分高めで推移しているため、今後注意が必要です。
- ②A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、先週に比べて全国・本県ともに増加し、昨年同期に比べて幾分高めで推移しているため、今後注意が必要です。
- ③伝染性紅斑は、先週に比べて全国・本県ともに増加し、昨年同期に比べて高めで推移しているため、今後も注意が必要です。
- ④流行性耳下腺炎は、先週に比べて全国は増加し、本県は減少していますが、1定点当たりの報告数が昨年同期に比べて高めであり、増加傾向を示しているため、今後も注意が必要です。

平成27年(2015)年10月29日発行

・ この情報は、速報性を重視しておりますので、今後、数値に若干の変更が生じる場合があります。

・ 全国の感染症発生動向情報につきましては、国立感染症研究所 感染症疫学センターのホームページ (<http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>) をご覧ください。

★ 定点把握疾患のうち、性感染症(性器クラミジア感染症, 性器ヘルペス感染症, 尖圭コンジローマ, 淋菌感染症) および基幹定点(メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症, ペニシリン耐性肺炎球菌感染症, 薬剤耐性緑膿菌感染症)については、別途月報に掲載していません。

## 茨城県感染症情報センター

Ibaraki Infectious Disease Surveillance Center



茨城県衛生研究所【編集・発行】

電話: 029-241-6652

### 全数把握対象疾患 報告数 2015年第43週

分類	対象疾患	茨城県(診断日)						全国(診断日)		
		39週	40週	41週	42週	43週	年累計	43週	年累計	
1類	エボラ出血熱									
	クリミア・コンゴ出血熱									
	痘そう									
	南米出血熱									
	ベスト									
	マールブルグ病									
	ラッサ熱									
2類	急性灰白髄炎									
	結核	2	15	11	8	6	431	367	19603	
	ジフテリア									
	重症急性呼吸器症候群									
	中東呼吸器感染症 ※									
	鳥インフルエンザ(H5N1)									
	鳥インフルエンザ(H7N9) ※									
3類	コレラ								4	
	細菌性赤痢			2	1		7	3	135	
	腸管出血性大腸菌感染症	2	1	3	1		56	42	3202	
	腸チフス							2	30	
	パラチフス								28	
4類	E型肝炎						6	4	156	
	ウエストナイル熱									
	A型肝炎				1		3	2	212	
	エキノкокクス症								13	
	黄熱									
	オウム病								5	
	オムスク出血熱									
	回帰熱								3	
	キャサヌル森林病									
	Q熱									
	狂犬病									
	コクシオイデス症								2	
	サル痘									
	重症熱性血小板減少症候群								2	54
	腎症候性出血熱									
	西部ウマ脳炎									
	ダニ媒介脳炎									
	炭疽									
	チクングニア熱							1		14
	つつが虫病							1	4	88
	デング熱				1		1	3	6	251
	東部ウマ脳炎									
	鳥インフルエンザ(H5N1除く)									
	ニパウイルス感染症									
	日本紅斑熱								9	181
	日本脳炎									1
	ハンタウイルス肺症候群									
	Bウイルス病									
	鼻疽									
	ブルセラ症									4
	ベネズエラウマ脳炎									
ヘンドラウイルス感染症										
発しんチフス										
ポツリヌス症								1	1	
マラリア				1			1	1	39	

※2015年1月21日から、二類感染症に追加されました。

## 全数把握対象疾患 報告数 2015年第43週

分類	対象疾患	茨城県(診断日)					全国(診断日)		
		39週	40週	41週	42週	43週	年累計	43週	年累計
4類	野兔病								2
	ライム病								8
	リッサウイルス感染症								
	リフトバレー熱								
	類鼻疽								1
	レジオネラ症	1		2	1		59	15	1327
	レプトスピラ症							1	23
	ロッキー山紅斑熱								
5類 (全数)	アメーバ赤痢		1	1			15	11	893
	ウイルス性肝炎(E型・A型肝炎を除く)				1		3	3	203
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症		2				6	29	1347
	急性脳炎		1				20	7	414
	クリプトスポリジウム症							1	13
	クロイツフェルト・ヤコブ病						1	1	149
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症						6	6	348
	後天性免疫不全症候群		2	1			15	18	1143
	ジアルジア症								65
	侵襲性インフルエンザ菌感染症						5	3	192
	侵襲性髄膜炎菌感染症								27
	侵襲性肺炎球菌感染症	1		1	1		21	21	1801
	水痘(入院に限る)						3	2	242
	先天性風しん症候群								
	梅毒	1	1		1	1	41	43	2038
	播種性クリプトコックス症								94
	破傷風		1	1			6	3	96
	バンコマイシン耐性 黄色ブドウ球菌感染症								50
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症								50
	風しん						2	1	145
麻しん								29	
薬剤耐性アシネトバクター感染症						3		25	

### <43週の保健所別報告数>

	疾患名	結核	デング熱	梅毒
保健所名	水戸	1		1
	ひたちなか	1		
	常陸大宮	1		
	日立			
	鉾田			
	潮来			
	竜ヶ崎		1	
	土浦	1		
	つくば			
	筑西			
	常総	1		
	古河	1		
合計	6	1	1	

(海外感染)

## 週報告 定点把握対象疾患 報告数 2015年第43週

定点種別	対象疾患	茨城県						全国(速報)	
		39週	40週	41週	42週	43週		43週	
		報告数	報告数	報告数	報告数	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	インフルエンザ	0	2	0	9	9	0.08	498	0.10
小児科	RSウイルス感染症	18	24	16	40	48	0.64	4118	1.31
	咽頭結膜熱	12	11	10	17	11	0.15	983	0.31
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	92	80	82	100	108	1.44	6914	2.20
	感染性胃腸炎	201	197	230	287	284	3.79	13628	4.33
	水痘	14	15	29	30	30	0.40	1118	0.36
	手足口病	208	172	118	64	58	0.77	2647	0.84
	伝染性紅斑	24	41	41	34	61	0.81	1609	0.51
	突発性発しん	21	29	20	19	37	0.49	1602	0.51
	百日咳	2	1	0	0	0	0.00	74	0.02
	ヘルパンギーナ	28	23	19	7	9	0.12	348	0.11
	流行性耳下腺炎	66	82	57	85	57	0.76	2138	0.68
	眼科	急性出血性結膜炎	0	1	0	0	1	0.06	9
流行性角結膜炎		21	24	15	26	18	1.06	655	0.95
基幹	細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0.00	11	0.02
	無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0.00	12	0.03
	マイコプラズマ肺炎	3	2	3	8	9	0.69	353	0.75
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0.00	11	0.02
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0	0	2	0.15	11	0.02

### 県内の定点医療機関数

定点種別	インフルエンザ	120
	小児科	75
	眼科	17
	性感染症(月報告)	22
	基幹	13

### <定点把握対象疾患のコメント>

- ・RSウイルス感染症は、全国・本県ともに増加傾向で、昨年同期に比べて幾分高め推移しているため、今後注意が必要です。保健所別で見ると、竜ヶ崎保健所・つくば保健所・古河保健所管内が高めです。(P4・P5・P6参照)
- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、全国・本県ともに増加傾向で、昨年同期に比べて幾分高めで推移しているため、今後注意が必要です。保健所別で見ると、ひたちなか保健所・つくば保健所管内が高めです。(P4・P5・P6参照)
- ・伝染性紅斑は、先週に比べて全国・本県ともに増加し、昨年同期に比べて高めで推移しているため、今後も注意が必要です。保健所別で見ると、日立保健所管内が、1定点当たりの警報レベル値2.0を超えて高めの他、ひたちなか保健所管内が高めです。(P4・P5・P7参照)
- ・流行性耳下腺炎は、先週に比べて全国は増加し、本県は減少していますが、昨年同期に比べて高めであり、増加傾向を示しているため、今後も注意が必要です。保健所別で見ると、筑西保健所・常総保健所・古河保健所管内が高めです。(P4・P5・P7参照)

定点把握対象疾患報告数【保健所別】2015年第43週

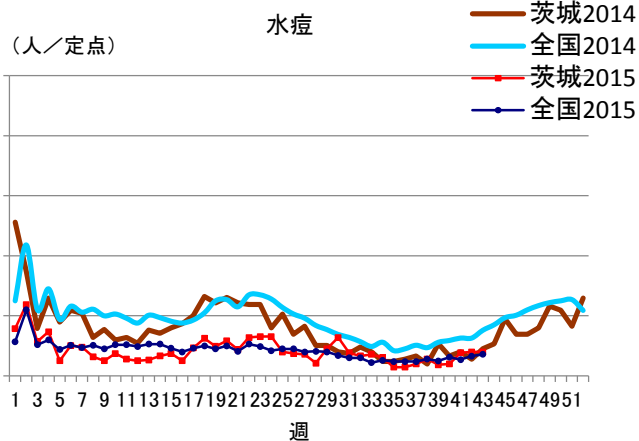
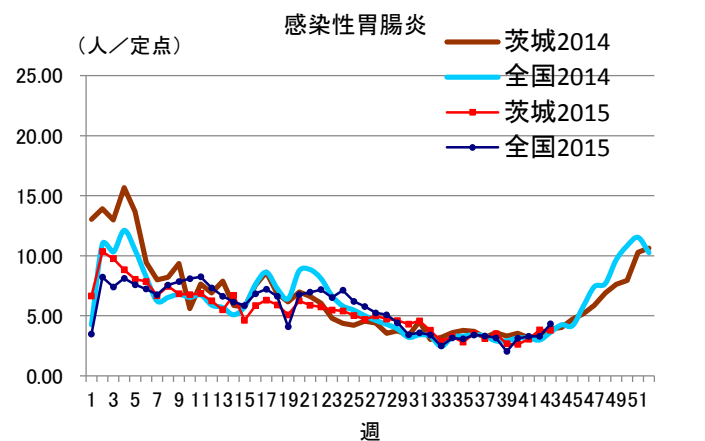
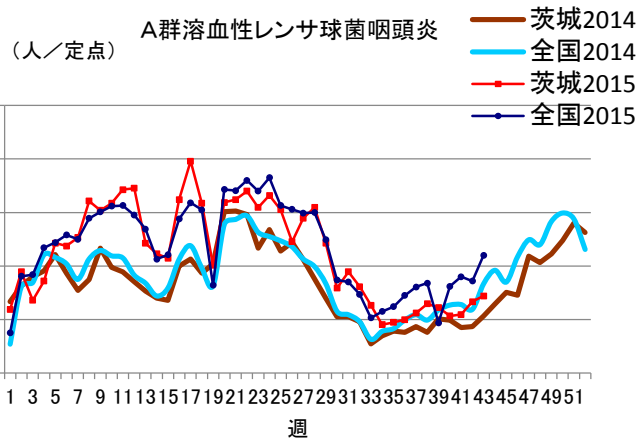
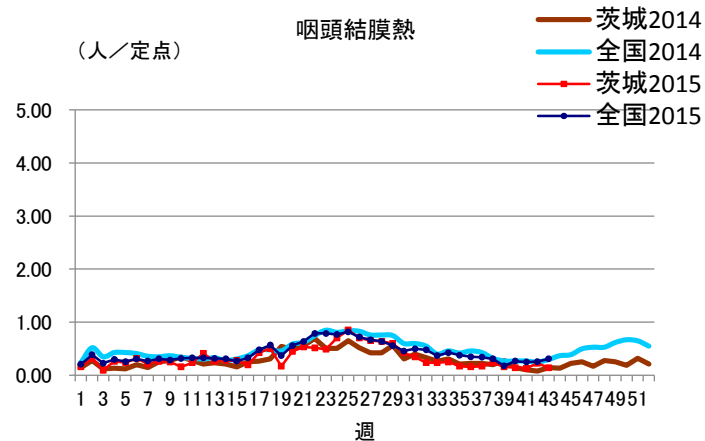
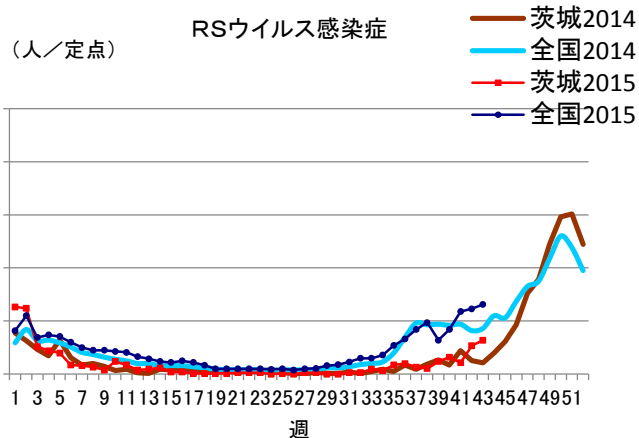
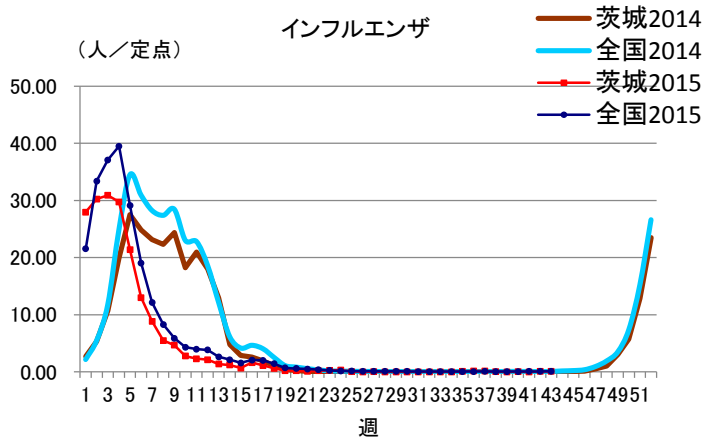
定点種別	疾 病/保健所	水戸	ひたち なか	常陸 大宮	日立	鉾田	潮来	竜ヶ崎	土浦	つくば	筑西	常総	古河	県
インフル エンザ	インフルエンザ	0	1	1	2	1	0	2	2	0	0	0	0	9
小児科	RSウイルス	4	2	0	1	0	0	17	2	12	2	2	6	48
	咽頭結膜熱	1	3	0	1	0	0	0	0	1	0	2	3	11
	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	7	16	9	4	0	5	19	9	23	8	2	6	108
	感染性胃腸炎	19	54	19	13	3	10	75	14	41	15	17	4	284
	水痘	2	2	13	2	1	0	3	1	2	4	0	0	30
	手足口病	9	5	0	3	2	4	0	2	17	7	4	5	58
	伝染性紅斑	7	7	3	36	0	0	3	1	0	3	1	0	61
	突発性発しん	8	4	0	1	0	2	2	2	4	7	4	3	37
	百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ヘルパンギーナ	2	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	2	9
流行性耳下腺炎	1	0	0	3	0	3	2	0	4	15	10	19	57	
眼科	急性出血性結膜炎	0	0	0	0	/	0	1	0	0	0	0	0	1
	流行性角結膜炎	3	1	5	0	/	0	3	1	0	0	2	3	18
基幹	細菌性髄膜炎 (真菌性を含む)	0	0	/	0	0	0	0	0	0	0	/	0	0
	無菌性髄膜炎	0	0	/	0	0	0	0	0	0	0	/	0	0
	マイコプラズマ肺炎	0	0	/	0	0	0	5	0	4	0	/	0	9
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)	0	0	/	0	0	0	0	0	0	0	/	0	0
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	0	0	/	2	0	0	0	0	0	0	/	0	2

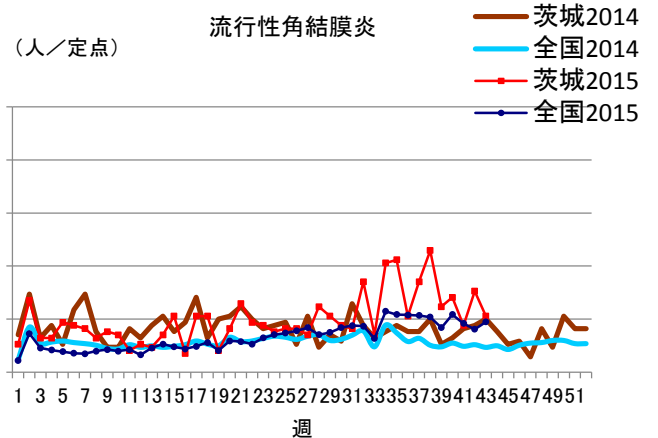
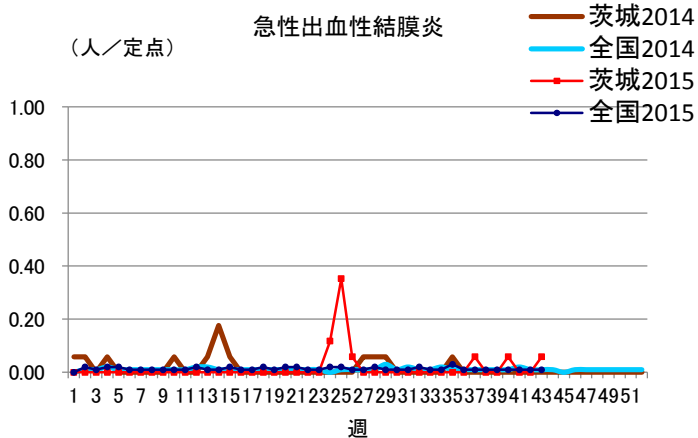
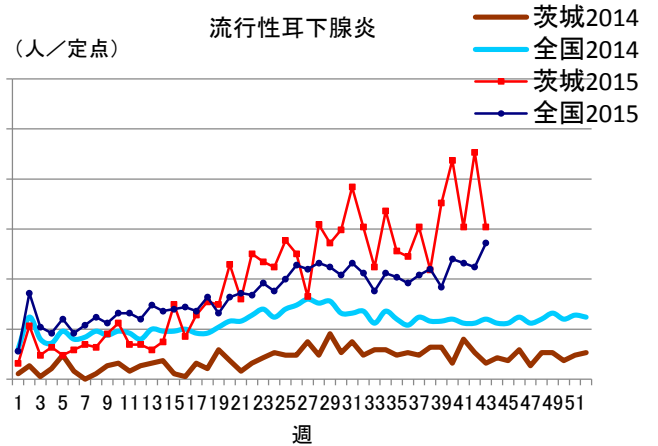
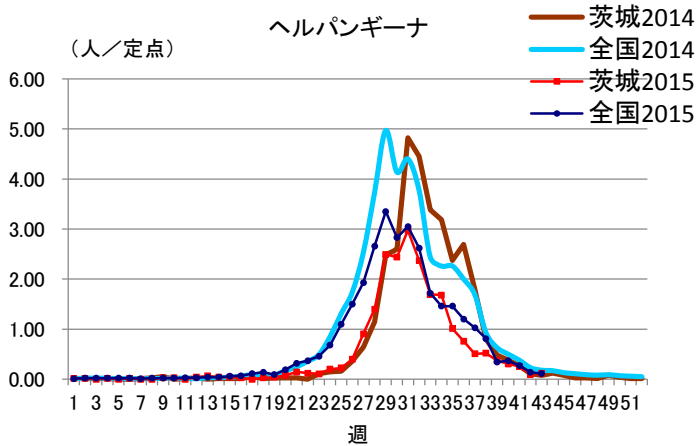
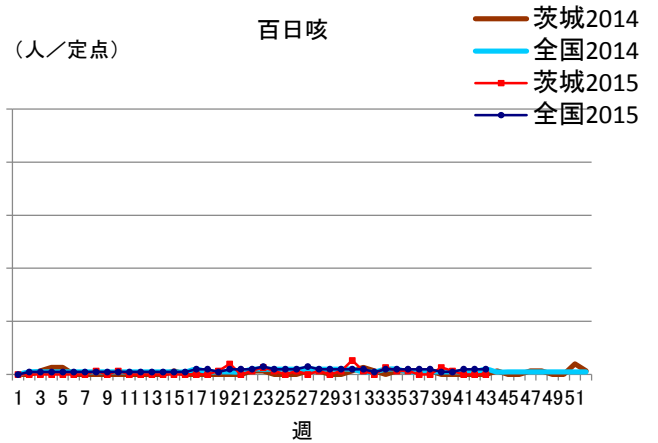
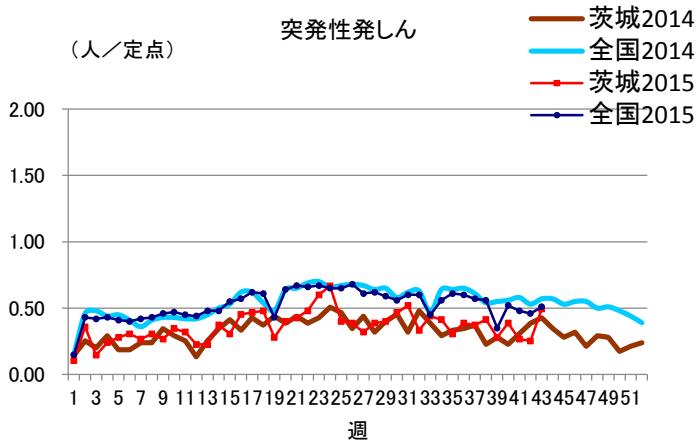
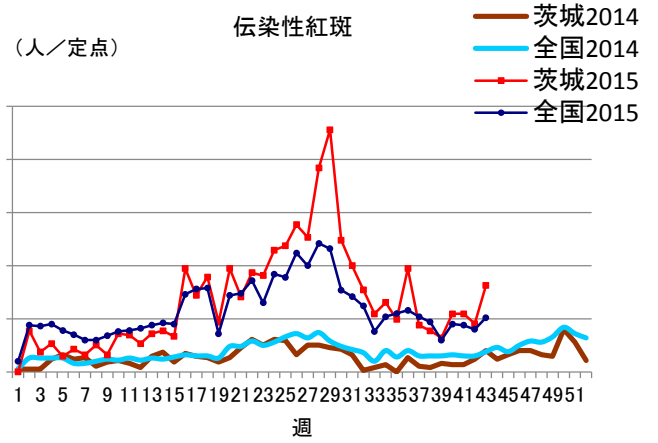
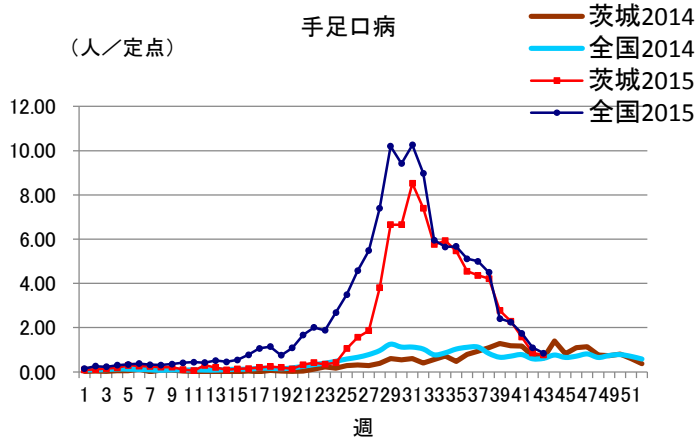
定点把握対象疾患定点当たり報告数【保健所別】2015年第43週

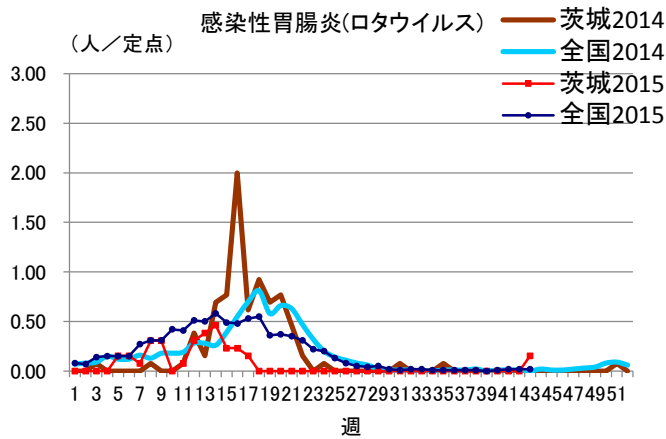
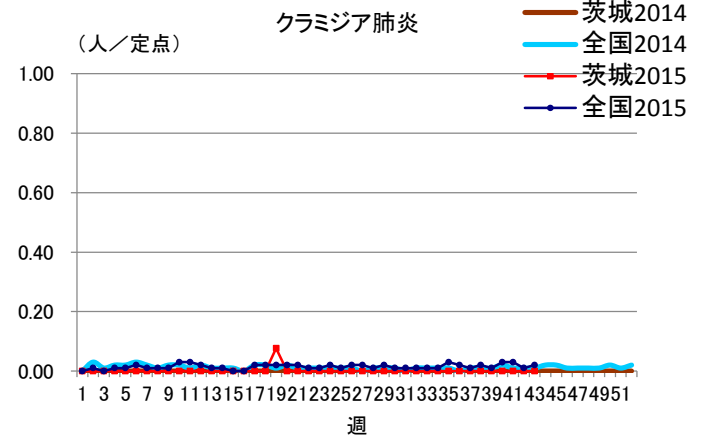
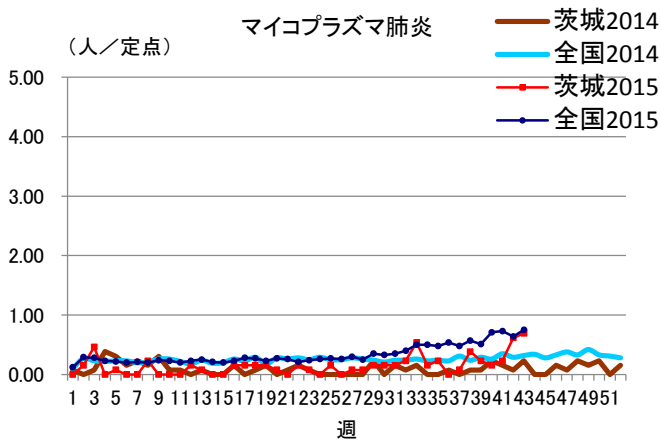
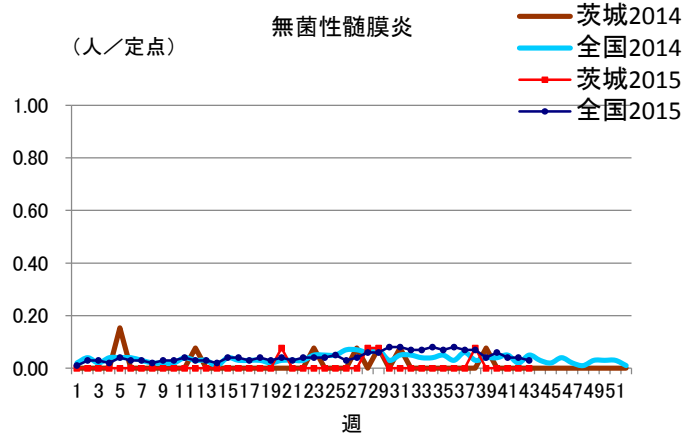
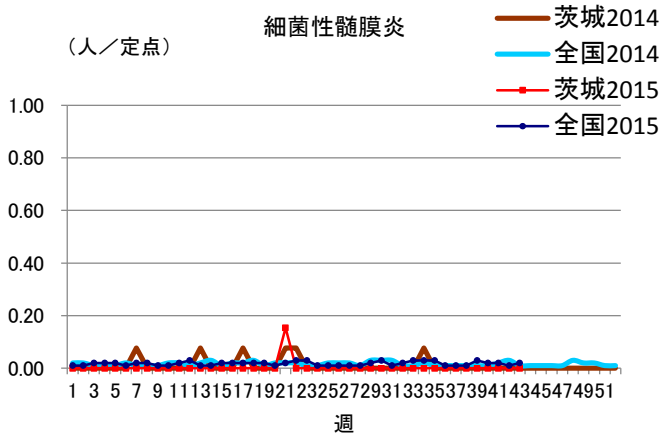
定点種別	疾 病/保健所	水戸	ひたち なか	常陸 大宮	日立	鉾田	潮来	竜ヶ崎	土浦	つくば	筑西	常総	古河	県
インフル エンザ	インフルエンザ	0.00	0.13	0.13	0.18	0.20	0.00	0.14	0.15	0.00	0.00	0.00	0.00	0.08
小児科	RSウイルス	0.36	0.40	0.00	0.14	0.00	0.00	1.89	0.25	2.00	0.33	0.40	1.20	0.64
	咽頭結膜熱	0.09	0.60	0.00	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.17	0.00	0.40	0.60	0.15
	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	0.64	3.20	1.80	0.57	0.00	1.00	2.11	1.13	3.83	1.33	0.40	1.20	1.44
	感染性胃腸炎	1.73	10.80	3.80	1.86	1.00	2.00	8.33	1.75	6.83	2.50	3.40	0.80	3.79
	水痘	0.18	0.40	2.60	0.29	0.33	0.00	0.33	0.13	0.33	0.67	0.00	0.00	0.40
	手足口病	0.82	1.00	0.00	0.43	0.67	0.80	0.00	0.25	2.83	1.17	0.80	1.00	0.77
	伝染性紅斑	0.64	1.40	0.60	5.14	0.00	0.00	0.33	0.13	0.00	0.50	0.20	0.00	0.81
	突発性発しん	0.73	0.80	0.00	0.14	0.00	0.40	0.22	0.25	0.67	1.17	0.80	0.60	0.49
	百日咳	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	ヘルパンギーナ	0.18	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.56	0.00	0.00	0.00	0.00	0.40	0.12
流行性耳下腺炎	0.09	0.00	0.00	0.43	0.00	0.60	0.22	0.00	0.67	2.50	2.00	3.80	0.76	
眼科	急性出血性結膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	/	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.06
	流行性角結膜炎	1.00	1.00	5.00	0.00	/	0.00	1.00	0.50	0.00	0.00	2.00	3.00	1.06
基幹	細菌性髄膜炎 (真菌性を含む)	0.00	0.00	/	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	/	0.00	0.00
	無菌性髄膜炎	0.00	0.00	/	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	/	0.00	0.00
	マイコプラズマ肺炎	0.00	0.00	/	0.00	0.00	0.00	2.50	0.00	4.00	0.00	/	0.00	0.69
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)	0.00	0.00	/	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	/	0.00	0.00
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	0.00	0.00	/	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	/	0.00	0.15

※斜線の箇所は定点医療機関が設定されていません。

# 定点把握対象疾患報告数【週別発生状況】2015年第43週







保健所管内別定点医療機関数

保健所名	定点種別				
	インフルエンザ	小児科	眼科	性感染症	基幹
水戸	17	11	3	4	2
ひたちなか	8	5	1	1	1
常陸大宮	8	5	1	1	0
日立	11	7	2	2	2
鉾田	5	3	0	1	1
潮来	8	5	1	1	1
竜ヶ崎	14	9	3	3	2
土浦	13	8	2	3	1
つくば	10	6	1	2	1
筑西	10	6	1	2	1
常総	8	5	1	1	0
古河	8	5	1	1	1
計	120	75	17	22	13



## 茨城県感染症発生動向疾患別年齢別報告数

### ●インフルエンザ定点

保健所	水戸	ひたちなか	常陸大宮	日立	鉾田	潮来	竜ヶ崎	土浦	つくば	筑西	常総	古河
インフルエンザ	0	1	1	2	1	0	2	2	0	0	0	0
	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳
インフルエンザ	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	～79歳	80歳～	合計			
インフルエンザ	0	0	3	0	0	0	1	0	9			

### ●小児科定点

	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳
RSウイルス感染症	10	9	20	6	2	0	1	0	0	0	0	0
咽頭結膜熱	0	0	2	0	1	4	3	0	1	0	0	0
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0	1	4	4	10	11	16	12	12	6	3	18
感染性胃腸炎	6	25	31	30	22	21	21	18	10	8	14	25
水痘	0	1	2	0	4	0	5	4	7	3	2	2
手足口病	1	4	24	5	8	2	5	2	3	2	1	1
伝染性紅斑	0	0	0	3	7	10	10	6	11	7	2	5
突発性発しん	1	11	22	3	0	0	0	0	0	0	0	0
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	0	0	2	0	4	0	1	1	0	0	1	0
流行性耳下腺炎	0	0	1	3	5	9	12	6	8	7	2	4
	～19歳	20歳～	合計									
RSウイルス感染症	0	0	48									
咽頭結膜熱	0	0	11									
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	9	108									
感染性胃腸炎	6	47	284									
水痘	0	0	30									
手足口病	0	0	58									
伝染性紅斑	0	0	61									
突発性発しん	0	0	37									
百日咳	0	0	0									
ヘルパンギーナ	0	0	9									
流行性耳下腺炎	0	0	57									

### ●眼科定点

	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	70歳～	合計				
急性出血性結膜炎	0	0	1	0	0	0	0	1				
流行性角結膜炎	0	0	4	5	2	4	1	18				

### ●基幹定点

	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	2	2
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	～79歳	80歳～	合計			
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
マイコプラズマ肺炎	0	2	1	0	0	0	0	0	9			
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0	0	0	0	0	0	2			